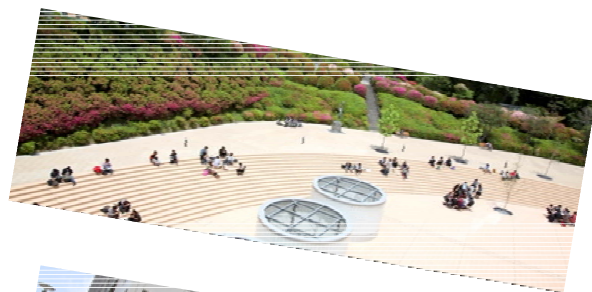


技術系大学におけるポートフォリオシステムの活用(2) 人間力育成プログラム

広島工業大学

久保川淳司, 長坂康史, 川上善嗣, 大谷幸三



発表のながれ

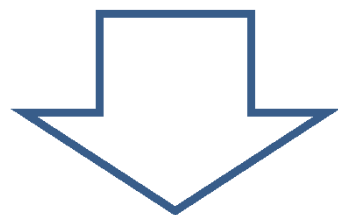
- HIT教育2016の趣旨
- HITポイント制度の概要
- HITPOによるHITポイントの登録と管理
- 期待される効果
- まとめ
- 今後の課題

HIT教育2016の趣旨

HIT教育2016の趣旨

- 技術の発展により、物質的及び経済的な豊かさを感じ受ける時代
 - 次なる方向性や目標を喪失
- より心豊かな生活を提案・形成できる技術者が必要

建学の精神
「教育は愛なり」



教育方針
「常に神と共に歩み
社会に奉仕する」

- 堅実な学力と豊かな人間力に満ちた
(専門力) (人間力)

「**学士力**」を有する技術者の養成

HIT教育2016

専門力

- ・ 確かな学力
- ・ 体系的学び

カリキュラム・ツリー
ナンバリング

新シラバス

高次レベル科目

アクティブ・ラーニング

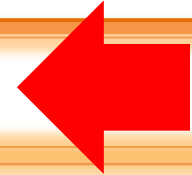
フォローアッププログラム

教育学習支援センター

人間力

- ・ 他者との協働
- ・ 豊かな体験

HITポイント制度



アサーションプログラム

キャリア教育
インターンシップ

HITチャレンジ、JCD

ボランティア

留学

HITポイント制度の概要

HITポイントの目的(1)

- 大学を卒業して社会へ巣立つ学生に、学科での学びで得られる**専門力**とともに、**人間力**と呼ばれる社会で活動を行うために必要な学力以外の力も身に付けさせる。
- 学内には、いくつかの**人間力を向上させる取り組みが行われている**が、それらを評価する仕組みがない。
- 学生にできるだけ、**学内の取り組みに参加させ**、人間力を向上させたい。

HITポイントの目的(2)

- 人間力向上への取り組み状況を測る指標としてHITポイントを導入するとともに、HITポイントを活用した人間力育成に関する指導及び発展トラックへの認定条件として活用する。
- HITポイントは、基本的に学内で行なわれている取り組みを評価する。

HITポイントの能力要素と分類(1)

- 人間力の定義（文部科学省資料より）

構成要素	内 容
知的能力	「基礎学力(主に学校教育を通じて修得される基礎的な知的能力)」、「専門的な知識・ノウハウ」を持ち、自らそれを継続的に高めていく力。また、それらの上に応用力として構築される「論理的思考力」、「創造力」など
社会・対人関係力	「コミュニケーションスキル」、「リーダーシップ」、「公共心」、「規範意識」や「他者を尊重し切磋琢磨しながらお互いを高めあう力」など
自己制御	上記の要素を十分に発揮するための「意欲」、「忍耐力」や「自分らしい生き方や成功を追求する力」など

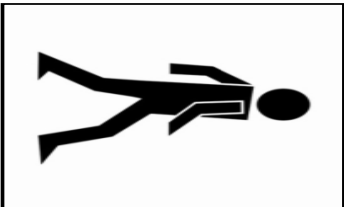
「社会人基礎力」とは

➤ 平成18年2月、経済産業省で教育学の有識者による委員会(座長:諏訪康雄法政大学院教授)にて「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を下記3つの能力(12の能力要素)から成る「社会人基礎力」として定義づけ。

<3つの能力/12の能力要素>

前に踏み出す力 (アクション)

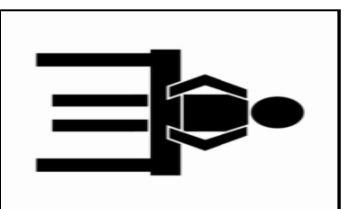
～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組み～



- 主体性
- 物事に進んで取り組む力
- 働きかけ力
- 他人に働きかけ巻き込む力
- 実行力
- 目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く～



- 課題発見力
- 現状を分析し目的や課題を明らかにする力
- 計画力
- 課題の解決に向けたプロセスを明らかに準備する力
- 創造力
- 新しい価値を生み出す力

チームで働く力 (チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



- 発信力
- 自分の意見をわかりやすく伝える力
- 傾聴力
- 相手の意見を丁寧に聴く
- 柔軟性
- 意見の違いや立場の違いを理解する力
- 状況把握力
- 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
- 規律性
- 社会のルールや人の約束を守る力
- コミュニケーション力
- ストレスの発生源に対応する力

HITポイントの能力要素と分類(2)

- HIT ポイントの能力要素は、以下に示すように社会人基礎力の3つの能力要素及び本学の教育方針に示されている社会に奉仕する力とする。
 1. 前に踏み出す力(アクション)
 2. 考え抜く力(シンキング)
 3. チームで働く力(チームワーク)
 4. 社会に奉仕する力 (教育方針より)

HITポイントの能力要素と分類(3)

- 4つの能力要素に基づき，活動を4つに分類した。
- 課外教育活動
 - 学生団体，クラブ・サークル活動など
- 社会貢献活動
 - ボランティア（大学指定）
- 自己啓発活動
 - 資格取得（学科指定），インターンシップ
- 大学協力活動
 - ピアサポート，ISMCSサポートセンターなど

HITポイントのポイント数(1)

- HITポイントは能力要素で示した4つの力のいずれかを育む活動に対して付与する。
- 基礎ポイント 活動への参加や取り組みに
対して付与
- 付加ポイント 基礎ポイントに対して、特別に効果の高い役割を持つ場合に付与

HITポイントのポイント数(2)

- 活動期間からの分類
 - 継続的活動 約半年～1年の取り組み
 - 短期間の活動 1日のみ～
- 活動への取り組み状況からの分類
 - 能動的参加 準備を伴う積極的な参加
 - 半能動的参加 運営スタッフとして参加
 - 受動的参加 イベントに参加
- 役割に対する分類
 - リーダー 付加ポイントにより対応
 - サブリーダー 付加ポイントにより対応

HITポイントのポイント数(3)

- 学科の取り組み（所属学科の学生のみ対象）
 - 継続的な活動
 - プロジェクト型の学科取り組み
 - 短期間の活動
 - 人間力向上に資する活動
 - 学科が推奨する資格
 - 学科が推奨する資格を事前に指定し，取得に対してポイントを付与
 - 在学中に取得した資格に限り，資格保有ポイントとして付与
 - 英語，数学などの資格試験に関するポイントは全学共通ポイントとして定義する

HITポイントのポイント数(4)

幅広い分野の取り組みや能動的な参加を促すなどHITポイント制度を効果的に運用するため、

- 継続的活動の上限を大分類毎に設定
- 受動的参加への上限を設定
- 大学入学以降の取り組みについてのみ算入

大分類

- 課外教育活動
- 社会貢献活動
- 自己啓発活動
- 大学協力活動

という制限を導入している。

HITポイントの利用

- 発展トラック認定に利用
 - 当該年度HITポイントを発展トラックの認定に活用する。
 - 発展トラックに認定されるためには、基準をクリアする必要がある
 - 発展トラック認定に利用される基準は、
 - 1年次末 50ポイント
 - 2年次末 60ポイント（暫定）
 - 3年次末 70ポイント（暫定）

発展トラック学生の中から特待生(給付型奨学金)を選出

HITポイントの登録と管理

HITポイントの登録と管理(1)

- 全学生のHITポイントの登録と管理を行うため、広島工業大学ポートフォリオシステム HITPO内にシステムを構築した。



学生番号	BK16998	学生氏名	初年次 情報	フリガナ	シヨネンジ ジョウホウ	
学年	1年次	学部	情報学部	学科	情報工学科	
学生区分	学部	状態	在学	入学年	0	
ポートフォリオ		My プロフィール		振返り		

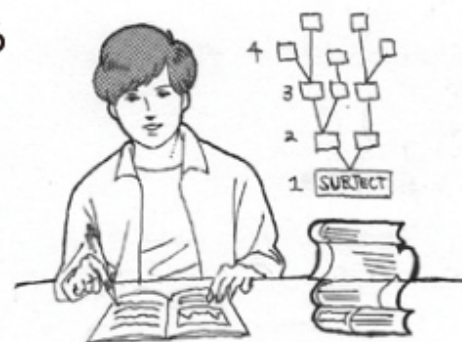
学びを深める（履修計画）
 学びを深める（免許・資格）
自分を高める（人間力・HITポイント）
 将来を計画する（キャリア）
 社会に出る（就活ナビ）

4つのコンテンツから構成され

PDCAサイクルの概念図

4つのコンテンツ

1 学びを深める



4年次までの履修計画を立てることができるツール

2 自分を高める



課外教育活動やボランティア活動、クラブ活動等に

HITポイントの登録と管理(2)

- 学生は、5月初旬に実施されるチュータ教員による新入生面談までに活動目標をHITPO内「自分を高める」の左側の入力画面に登録する。
- 活動を実施した場合は、右側の現在までの活動結果の項目に結果を登録する。
- 学生自身が登録した活動結果のみが評価され、活動を行っていても自身で登録していないものは評価されない。

自分を高める（人間力・HITポイント）

※個人情報保護のため本システムの画面は印刷禁止です。

■前に踏み出す力（アクション） ■考えぬく力（シンキング） ■チームで働く力（チームワーク）

■社会に奉仕する力（教育方針）

獲得ポイントは、発展基準ポイントに算入するポイントです。

今年度選択した活動目標

分類		活動	ポイント数	削除
課外教育活動	クラブ・サークル	体育系クラブ	25	
学科の活動	資格	第二種電気工事士	10	

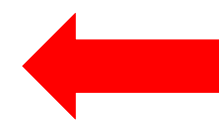


目標設定(P)

現在までの活動結果

分類		活動	ポイント数	削除
課外教育活動	クラブ・サークル	体育系クラブ	25 *	×
社会貢献活動	学内ボランティア	国際交流学生ボランティア1（参加）	5 *	×
学科の活動	団体	電気工事士実技練習会に参加	5 *	×

実施結果
の入力(D)



追加

HITポイント

年度	獲得目標	活動結果	獲得ポイント	目標値
2016年度（1年次）				50

これから取り組もうとするもの（すでに取り組んでいるものも含む）を選択してください。

課外教育活動

- | | |
|----------------------|---|
| 自治会(参加) | ▶ |
| 自治会(スタッフ) | ▶ |
| 自治会(企画) | ▶ |
| 工大祭 | ▶ |
| 文化局（参加） | ▶ |
| 文化局（スタッフ） | ▶ |
| 文化局（企画） | ▶ |
| 体育会（参加） | ▶ |
| 体育会（スタッフ） | ▶ |
| 体育会（企画） | ▶ |
| クラブ・サークル | ▶ |
| 女子キャリアデザインセンター（参加） | ▶ |
| 女子キャリアデザインセンター（スタッフ） | ▶ |
| 女子キャリアデザインセンター（企画） | ▶ |

社会貢献活動

- | | |
|----------|---|
| 学内ボランティア | ▶ |
| 学外ボランティア | ▶ |

学科の活動

- | | |
|------|---|
| 団体 | ▶ |
| 資格 | ▶ |
| 資格保持 | ▶ |

語学、全学共通資格

- | | |
|-------|---|
| 資格 | ▶ |
| 資格保持 | ▶ |
| 大会等参加 | ▶ |

自己啓発活動

- | | |
|------------------|---|
| 大会等参加 | ▶ |
| 受賞 | ▶ |
| 海外留学 | ▶ |
| 就業体験 | ▶ |
| JCD キャリアアッププログラム | ▶ |
| HITチャレンジ | ▶ |

大学協力活動

- | | |
|---------|---|
| 大学貢献 | ▶ |
| 図書館 | ▶ |
| ピア・サポート | ▶ |

戻る

HITポイント

年度	獲得目標	活動結果	獲得ポイント	目標値
2016年度（1年次）				50

現在、記載されている「＊」部分の「ポイント数」は学生の活動結果入力に基づいた値であり、正式な獲得ポイントではありません。
正式なHITポイント付与は年に2回（9月と3月）を予定しています。

今年度選択した活動目標

活動について、自分の思いや、得たこと、成長してたことなどを記入してください。

獲得目標

4月30日までに記入してください。

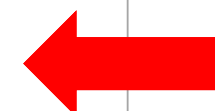
活動結果

2月末日までに記入してください。

目標設定(P)



振り返り(C)

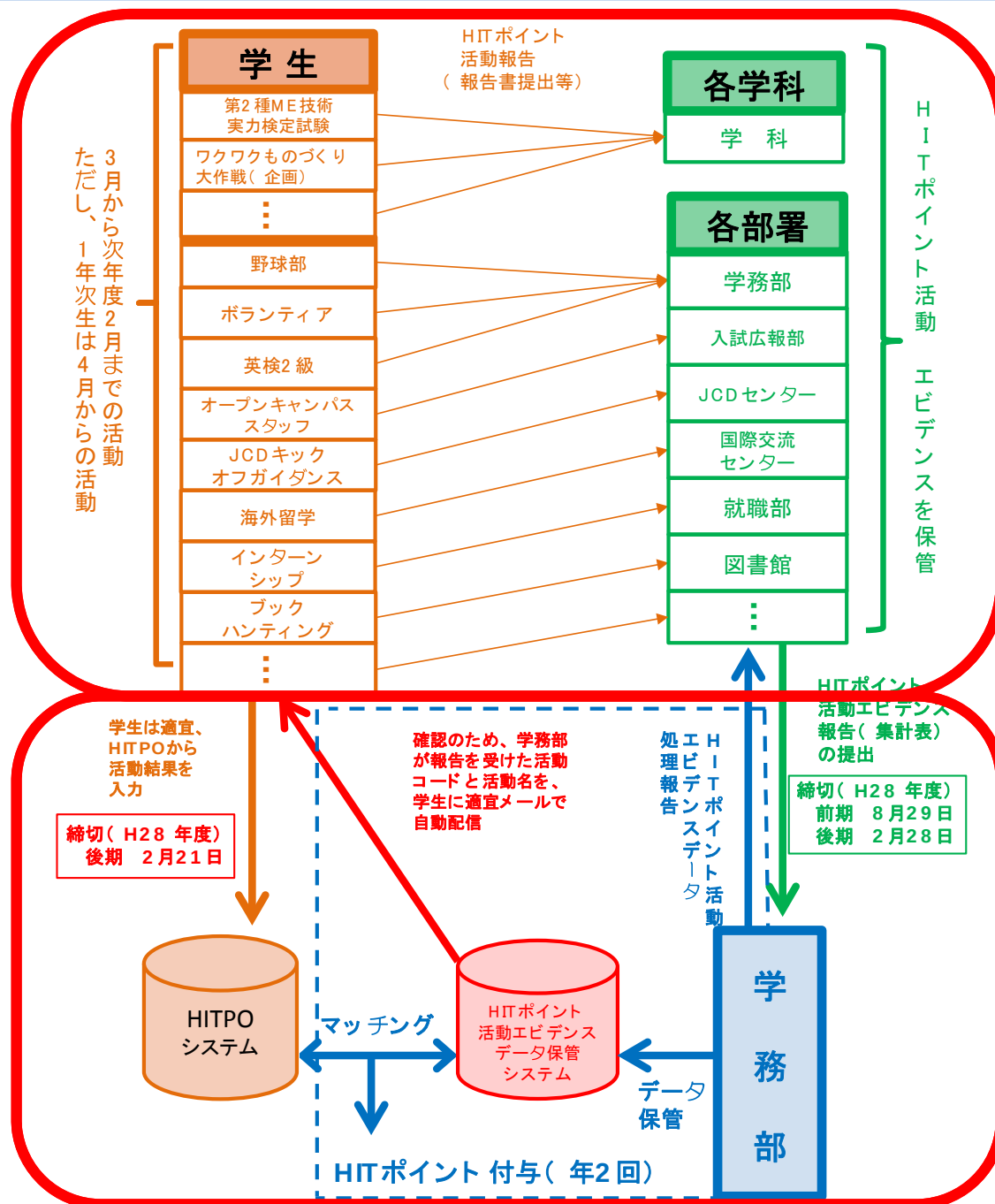


登録

教員コメント

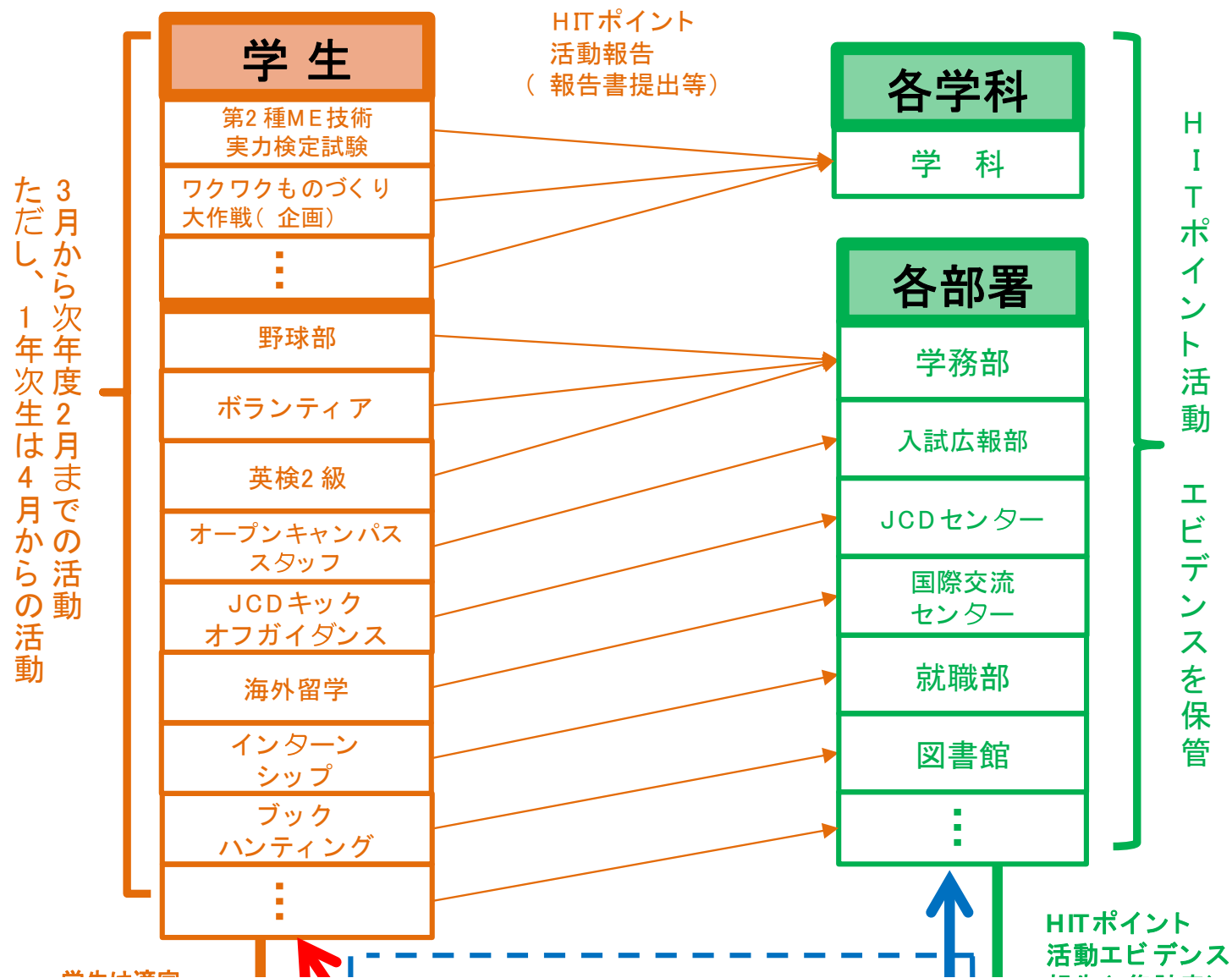
HITポイントの登録と管理(3)

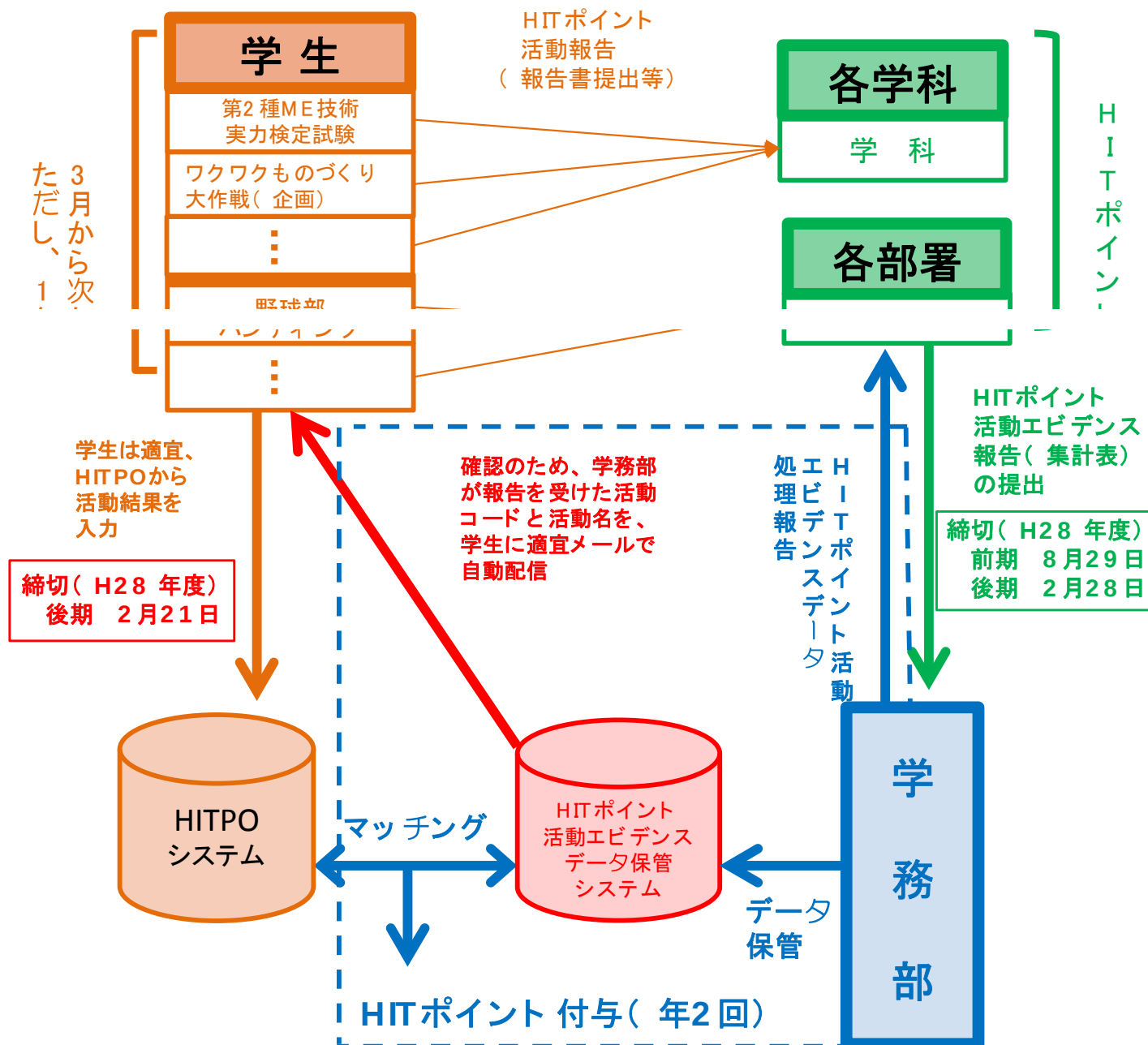
- 学生が実施した活動のエビデンスは、学科・各部署が管理しておき、決められた期限までに集計結果を学務部に報告する。
- 活動報告は、活動報告書とともに、学生の活動状況を記入した、「指定されたCSV形式のファイル」により行う。
- 学務部は報告されたCSV形式のファイルをHITポイント活動エビデンスデータ管理システムに登録し、システムがマッチングおよび集計を行う。



学生の活動実施と
各学科・部署のエビデンス管理

学生の活動状況とエビデンス
のマッチングおよびポイント
管理





期待される効果

期待される効果(1)

- HITポイントの導入による効果
 - 学内で行なわれている様々な人間力を向上させる取り組みを発掘・整理し，それらを評価する仕組みを導入することができた。
 - 学生に対して，人材育成目標として，学力とともに人間力を評価するというメッセージを発信できる。

期待される効果(2)

- HITPOシステム内にHITポイント登録・管理システムを実装
 - HITPO内のポートフォリオシステムの一部として実装したことで、学修だけでなく、人間力育成に対してもPDCAが実施できる。
 - 約4千人の学生に対する活動エビデンス管理に対して、システム開発を行うことで、管理業務の効率化を行うことができる。

まとめ

- HITポイントにより，人間力を向上させる取り組みを評価する仕組みを導入
 - 学内で行われている人間力を向上させる取り組みの整理
 - 取り組んでいる学生を「発展トラック学生」として評価
- HITPO内にHITポイント登録・管理するシステムを構築
 - 活動成果の見える化（PDCA支援）
 - 多部署にまたがる活動エビデンス管理の効率化

今後の課題

- HITポイント制度自身も、毎年問題点を検証しながら、より効果的な制度になるよう改善する必要がある。
- HITポイントに興味を示さない（あきらめている）ような学生に対する対応。
- 人間力育成プログラムのうち、PBLやボランティア等の取り組みを正規科目へ取り込み。